

永年にわたるミャンマーへの IT 人材育成支援等により、ミャンマーコンピュータ協会(MCF)やミャンマー IT 系大学から多大な信頼を得ている CICC は、ミャンマートップレベルの IT 系大学からの要請に基づき、日系企業へのインターンシップ支援を 2018 年度から新たに実施しております。

ミャンマーでは毎年多くの IT 系大学、学科の卒業生を輩出しています。これまで受け入れてきた学生は、IT の素養も高く、日本語への適応力も高いなど、受け入れ企業で活躍しております。我が国の IT 人材不足が深刻な状況にある中、ミャンマー IT 人材は、この解決の方途として有益なものとなっております。

なお、本事業は、これまで試験的に実施していましたが、2020 年度インターン生を対象とする受入れ支援につきましては、事業の継続性確保の観点から、インターン採用数に応じた少額の事業分担金の導入を検討しております。

ミャンマーとの IT 分野での協力を資する本事業の趣旨に賛同し、本インターン生の受け入れを円滑な採用プロセスの一環として検討して頂ける企業の皆様からの御連絡をお待ちしております。

【来年度(2019-2020 年度)インターンシップ支援計画概要】

1. 大学別インターン生と派遣期間等：

大学名	略称	対象学年	対象人数	派遣期間	備考
ヤンゴン情報技術大学	UIT	5年生	50	約 4 ヶ月間 (2020 年 6 月から 9 月末)	基本情報技術者試験(FE)以上の合格者のみ海外インターンを許可
ヤンゴンコンピュータ大学	UCSY		400	約 3 ヶ月間 (2020 年 5 月から 7 月末)	
マンダレーコンピュータ大学	UCSM		250		
ミャンマー情報技術大学	MIIT		120	約 1.5 ヶ月間 (2020 年 10 月中旬から 11 月末)	2019-2020 年度に 1 期生が卒業 (インドとの協力事業として設立) UIT と同じ期間での派遣実績あり
工科大学ヤタナポーンサイバー シティ(IT 系学部)	UTYCC	6年生	140		

2. 受け入れ企業： 賛助会員企業等

3. マッチング： 企業の受け入れ条件を踏まえ、大学事務局で候補者を募集。企業にて履歴書等での書類選考後、現地での対面式面接を行う。(2019 年 12 月から 2020 年 2 月を予定)

4. インターンシップの形態別の概要と特徴

形態	概要	特徴
リモートインターン	・インターンの初期、及び終期にのみ本邦で研修 ・その間、CICC の現地パートナー企業(MDRK)の施設にてインターネット経由でのリモート研修	・企業の費用負担が軽減 ・ヤンゴンで週 5 日の日本語学校に通学可。日本語力向上 ・同じインターン仲間との連帯感、競争心の醸成 ・在学中のマスター2年生の受け入れも可能 ・VISA 取得が容易(在留資格不要)
オンサイトインターン	・インターンの全期間を企業の現場で研修	・組込みソフト開発等現場 OJT が必要な研修が可能 ・在学中のマスター2年生の受け入れは不可
90 日未満(短期)	・緬大学の要請で短期派遣しかできない場合(例:MIIT)	・インターン中の日本語力向上は期待できない ・VISA 取得が容易(在留資格不要)
90 日以上(長期)	・緬日の大学間連携を活用できる場合 ・学生は交換留学生として本邦の大学に在籍 ・本邦の大学から企業に実務訓練生として長期派遣 ・大学間連携の無い一般的な長期インターンの場合	・本邦の大学の日本語授業に無償で出席可。宿舎、学食を廉価利用可 ・VISA 在留資格(留学生)取得に 2.5 ヶ月程度要 ・本邦の大学と隣接企業との良好な関係も必要 ・日本での日本語研修費、滞在費、食費の検討要 ・VISA 在留資格(インターンシップ)取得に 1 ヶ月要

5. CICC 支援内容：

大項目	中項目	詳細 (【】内は受入企業の自己負担。 CICC の現地パートナー企業(MDRK)の斡旋可)
準備作業	事業計画策定・管理・調整	・全工程において企業、大学(日緬)、学生間で以下の合意調整を図り、工程管理を行う。 ・各作業の関係者との日程調整・各大学の行事を考慮したインターン受入れ計画策定 ・企業側と負担経費の合意確認 ・企業と日本語研修機関との研修方法・条件の擦り合わせ
	企業募集	・翌年度インターン生受入れ企業の募集 ・緬大学のインターン他、行事日程入手 ・企業ニーズに合わせ、緬大学・学部の発掘や企業への紹介
	大学への企業紹介・学生募集	・緬大学学長との面談設定 ・大学に企業を紹介、英文資料提出(企業概要、インターン採用条件、企業パンフ) ・学生の募集を依頼(申請書、履歴書の作成依頼)
	インターン生選抜	・大学、企業との面接日程調整 ・申請書での 1 次書類選考支援と 2 次選考面接立会い ・面接会場・面接時通訳手配

日本語研修	ブレインターン日本語入門研修 (N5 模試合格を目標)	・(マンダレー地区学生向け)講師の手配、4月中旬から6Hrs/週 x 6週 ・(ヤンゴン地区学生向け)講師の手配、4月中旬から土日のみ 9:00-15:00
	ブレインターン日本語特別研修	・(大学間連携の長期オンサイトインターン生向け) 講師の手配、3月のみ毎日 3Hrs ・日本の大学の日本語研修クラスに参加する学生間のレベル調整が目的
	リモートインターン日本語中級研修 (N4 模試合格を目標)	・(リモートインターン生向け) 日本語学校の手配、6月から9月末、週6日 15:30-17:30 ・【レベル分けをして個別に上級研修クラスに入れたい場合】
	オンサイトインターン日本語中級研修	・(大学間連携の長期オンサイトインターン生向け)国内大学の日本語講師との調整例) 長岡技術科学大学への留学生向け日本語中級クラス 週3日、16:20-17:50 ・(大学間連携の無い場合)社内での日本語教育を基本とする。民間業者委託の場合、日本語学習費用の一部を支弁(1万円/月を上限、最大総計4万円)
	【ポストインターン日本語上級研修】(N3 又は N2 模試合格を目標)	・(全インターン生向け)MDRK 提携日本語学校、金曜除く毎日 09:00-15:00 ・MDRK による日本語補講研修、平日 15:30-17:30 ・MDRK と企業との個別委託契約によるレベル分けクラス編成可
渡航準備	インターンシップ3者間 MOU 締結	・緬大学、インターン生、日系企業の3者間でインターンに係る覚書(MOU)を締結させる。VISA 申請の必要資料のひとつ
	VISA 申請書類作成支援	・VISA 申請のため3者でそれぞれ必要になる書類等を指示し、在留資格が必要な場合は取得計画を立てた上で、期限内に準備させる ・リモートインターン向け1週間程度の渡航(在留資格:不要) ・短期オンサイトインターン向け90日以内の渡航(在留資格:不要) ・長期オンサイトインターン向け90日を超える渡航(在留資格:インターンシップ) ・長期オンサイトインターン向け90日を超える渡航(在留資格:留学生)
	VISA 申請のための在緬日本国大使館への同行	・VISA 申請、受領の際、インターン生と共に大使館に同行する【但し、入社の際の渡航 VISA の準備、申請は企業負担】
	ヤンゴン空港での見送り	・学生の家族が見守る中、問題無く、安心して送り出せるよう空港での見送りをを行う
インターン生への研修等支援	インターン開始前後	・オンサイトインターン生にはインターン開始前、リモートインターン生にはインターン開始後にオリエンテーションとして、インターンの心得、全体スケジュールの説明、日本の情報産業、受入れ企業の事業内容紹介、メンタリングを実施
	【インターン期間】	・リモートインターン生向けに研修場所、設備を提供。企業とリモートインターン生間のパイプ役、日本語研修での不明点の相談、メンタリングを実施 ・リモートインターン生向けに成果報告書作成支援、発表会準備支援
	【インターン後から入社前までのフォローアップ期間】	・インターン終了生向けに研修場所、設備を提供。日本語学校の補講、メンタリング、正式入社までのフォローアップ ・インターン終了生向けに、ビジネスマナー研修、JLPT 受験対策のコンサルを実施
その他支援	緬大学学長等の招へい	・日本での受け入れ企業への訪問、インターン成果報告会への招へいを企画、調整(実施経費については、受け入れ企業各社で按分負担)
	【企業の出張者向け、現地サポート】	・航空チケット、ホテル手配代行、VISA 申請準備、各種打合せアポ取得等 ・空港送迎、会食手配、工業団地視察、現地タクシー手配等

## 6. 企業側負担 (対学生) :

インターン先 大学名	ミャンマー国外 (日本、他のアセアン各国)	ミャンマー国内
UIT	・渡航費(旅行保険付き)	・生活費(交通費、食費等、最低月15万MMK)を希望
UCSY	・VISA 申請手数料(大使館より請求時) ・滞在費実費	・日々の交通費、食費、日当の中から支給可能な項目を企業が選択。額は企業側で設定可。(注1)
MIIT、WYTU、UCSM、UTYCC	・通勤費実費 ・生活費(交通費、食費等、額は別途、個別に設定可)(但し、月4-5万円目安)	・日当の支給が必要。額は企業側で設定可。(注1)

(注1) : UIT 以外の学生を UIT の学生と同時に受け入れる場合、UIT の学生と同じ生活費を支給すること。

## 【2017-18 年度以降のインターンシップ支援実績】

年度	受け入れ企業 (賛助会員)	インターン期間	派遣大学	インターン 採用数	JLPT 模試 合格者	企業 就職者
2017-18年度	A社	2018年6月~9月末	UIT	3名	N3 : 3名	3名
	B社	2018年5月~9月末	UCSY, UIT, UTYCC	9名	N3 : 8名	8名
	C社	2018年6月~9月末	UIT	2名	N3 : 2名	2名
2018-19年度	A社	2019年6月~9月末	UIT	5名	-	-
	B社	2019年6月~9月末	UIT, UTYCC	10名	-	-
	C社	2019年6月~9月末	UIT	2名	-	-
	D社	2019年4月~9月末	UIT	3名	-	-
	E社	2019年6月~9月末	UIT, UTYCC	3名	-	-

【その他】 インターンシップはあくまでも教育の一環であり、受入先での雇用を約束するものではありません。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

一般財団法人 国際情報化協力センター (CICC) 協力事業部 : 篠原  
 TEL : 03-5807-5041 E-mail: shinohara-kazuhiro@net.cicc.or.jp  
 URL : <http://www.cicc.or.jp>